



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ルネサンス

コード番号 2378 URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 正昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員最高財務責任者 兼財務本部長 (氏名) 田中 俊和

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成23年8月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	8,672	△3.5	△116	—	△138	—	△203	—
23年3月期第1四半期	8,988	2.5	△140	—	△168	—	△263	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△9.53	—
23年3月期第1四半期	△12.34	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	25,743	8,482	32.9
23年3月期	24,777	8,771	35.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 8,482百万円 23年3月期 8,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,900	△3.6	220	△38.7	170	△48.7	△65	—	△3.04
通期	36,800	△0.7	1,060	△7.9	950	△9.5	300	4.1	14.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	21,379,000 株	23年3月期	21,379,000 株
24年3月期1Q	188 株	23年3月期	148 株
24年3月期1Q	21,378,816 株	23年3月期1Q	21,378,852 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
【追加情報】	7
【注記事項】	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)	7
(株主資本等関係)	7
(持分法損益等)	8
(セグメント情報等)	8
(1株当たり情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災による甚大な被害や電力供給の制限などにより、厳しい状況で推移いたしました。震災後の企業の生産活動や個人消費については若干復調の兆しも見られますが、円高、デフレ及び雇用不安などから、今後も企業を取り巻く環境は不透明な状況が続くと考えられます。

当社においては、年間を通して最大の会員獲得時期にあたる春のキャンペーン展開時の被災となり、本年度への影響に対する懸念は計り知れないものがありました。しかし、今回の大震災に伴う国民一人ひとりの健康意識の高まりなどもあり、全国的に入会動向が活発化しております。特に、東北地方のクラブにおいて顕著な反応が出ており、改めて本事業の社会的使命の重さを実感しております。

当第1四半期累計期間における直営クラブの新規出店につきましては、6月に青砥(東京都葛飾区)の1クラブを出店いたしました。また、5月より京都桂(京都市西京区)、姫路(兵庫県姫路市)の運営形態を直営から業務受託に変更いたしました。この結果、当第1四半期末のクラブ数は、直営96クラブ、業務受託8クラブの計104クラブ(休業中の2クラブを含む)となりました。

既存クラブへの改装及び設備更新につきましては、5月に広島(広島市南区)において実施し、クラブ環境の整備と魅力向上に努めております。

以上の結果、当第1四半期累計期間におきましては、売上高は86億72百万円となり、前年同期に比べ3.5%減少いたしました。震災の影響により一定期間の休業等を余儀なくされたクラブを除くと、前年同期に比べ0.2%増加しております。収益基盤の強化が喫緊の課題という認識のもと、営業活動の効率化及びオペレーションの工夫等により経費の圧縮をした結果、営業利益は前年同期に比べ24百万円改善して△1億16百万円、経常利益は29百万円改善して△1億38百万円、四半期純利益は震災の影響による幕張の建て替え等に伴う固定資産除却損78百万円及び震災による損失73百万円等を計上しましたが前年同期に比べ60百万円改善して△2億3百万円となりました。

なお、前年同期におきましては、資産除去債務に関する会計基準が適用されたため、過年度分の一括処理費用として2億18百万円を特別損失として計上しております。

今回の震災においては、東日本の全クラブにおいて安全確認をした後、幸いにも大多数のクラブは3月15日より営業を再開することができました。被災地を中心に大規模な修繕を要したクラブも5月15日までは再開し、幕張(千葉市花見川区)及び原町(福島県南相馬市)の2クラブのみ現在も長期休館しております。

創業クラブとなる幕張につきましては、平成24年秋の営業再開に向けて、全面的な建て替えをすることになりました。当社が長年蓄積してきたノウハウを結集し、テニスコートをはじめ、トレーニングジム、プール、スタジオ、ゴルフレンジのほか、新たに露天風呂を付帯するなど、当社の最新機能を十分に盛り込んだ地域最大級のスポーツクラブとして再出発する予定です。

当社の報告セグメントは「スポーツクラブ運営事業」のみであるため、セグメントごとの業績については記載しておりません。以下では、より詳細な区分に分類し開示を行っております。

① 区分別売上高

当第1四半期累計期間における販売実績を各区分別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第1四半期 累計期間(千円)	前年同四半期比(%)
フィットネス部門合計	4,864,114	△2.3
スイミングスクール	1,382,509	△3.4
テニススクール	755,640	△10.5
その他スクール	335,985	+0.4
スクール部門合計	2,474,135	△5.2
プロショップ部門	420,878	△22.1
その他の収入(注)2	778,737	+3.3
スポーツ施設売上高計	8,537,865	△3.9
業務受託	116,443	+46.8
その他売上	18,517	△26.8
売上高合計	8,672,826	△3.5

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 「その他の収入」は、スポーツクラブ施設に付帯する駐車場、プライベートロッカー等の収入であります。

② フィットネス部門及びスクール部門別会員数の状況

当第1四半期会計期間末におけるフィットネス部門及びスクール部門別会員数の状況を示すと、次のとおりであります。

部門	当第1四半期 会計期間末(名)	前年同四半期比(%)
フィットネス部門計	223,909	△0.9
スイミングスクール	77,695	△1.7
テニススクール	30,817	△6.8
その他スクール	15,478	+1.2
スクール部門計	123,990	△2.7
会員数合計	347,899	△1.5

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

イ. 資産

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ9億66百万円増加し、257億43百万円となりました。これは主に、新規出店に伴いリース資産が増加したことにより有形固定資産合計が5億82百万円増加したことによるものです。

ロ. 負債

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ12億55百万円増加し、172億61百万円となりました。これは主に、新規出店に伴いリース債務が増加したことにより固定負債合計が10億64百万円増加したことによるものです。

ハ. 純資産

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ2億89百万円減少し、84億82百万円となりました。これは主に、四半期純損失2億3百万円を計上したこと、また前事業年度末配当金85百万円を取崩したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今期の業績予想につきましては、売上高は前回予想通りとなる見込みですが、収益基盤の強化が喫緊の課題という認識のもと、第1四半期において営業活動の効率化及びオペレーションの工夫等により経費の圧縮をした結果、利益面の改善が図られたことにより、平成24年3月期第2四半期(累計)及び通期における前回予想を上回ることが見込まれるため、平成23年5月10日に公表した数値を変更しております。詳細につきましては、本日、平成23年8月4日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,098,072	1,188,556
売掛金	714,845	699,022
商品	443,020	442,124
その他	1,654,427	2,186,909
貸倒引当金	△15,028	△14,452
流動資産合計	3,895,336	4,502,159
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,836,065	5,622,604
リース資産(純額)	1,873,846	2,593,383
その他(純額)	1,966,519	2,043,088
有形固定資産合計	9,676,431	10,259,077
無形固定資産		
	651,732	649,957
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,282,181	7,974,492
その他	2,372,001	2,458,219
貸倒引当金	△100,000	△100,000
投資その他の資産合計	10,554,182	10,332,712
固定資産合計	20,882,345	21,241,746
資産合計	24,777,682	25,743,906
負債の部		
流動負債		
支払手形	156,387	250,700
買掛金	96,885	135,520
短期借入金	1,100,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	2,422,000	2,435,500
未払法人税等	379,283	36,832
前受金	545,350	634,266
賞与引当金	468,432	216,095
資産除去債務	1,470	11,429
その他	2,524,664	2,864,609
流動負債合計	7,694,473	7,884,953
固定負債		
長期借入金	4,828,000	5,111,000
退職給付引当金	541,260	552,817
資産除去債務	525,386	529,606
その他	2,417,418	3,183,410
固定負債合計	8,312,065	9,376,834
負債合計	16,006,539	17,261,787

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,756,974	2,756,974
利益剰余金	3,803,555	3,514,280
自己株式	△79	△91
株主資本合計	8,770,829	8,481,543
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	313	576
評価・換算差額等合計	313	576
純資産合計	8,771,143	8,482,119
負債純資産合計	24,777,682	25,743,906

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	8,988,637	8,672,826
売上原価	8,737,520	8,355,126
売上総利益	251,116	317,699
販売費及び一般管理費	392,074	433,926
営業損失(△)	△140,957	△116,226
営業外収益		
受取利息	7,244	8,455
受取手数料	15,819	19,895
その他	3,256	5,824
営業外収益合計	26,319	34,174
営業外費用		
支払利息	47,316	44,571
その他	6,652	12,003
営業外費用合計	53,969	56,574
経常損失(△)	△168,606	△138,625
特別利益		
固定資産売却益	932	—
貸倒引当金戻入額	447	—
特別利益合計	1,380	—
特別損失		
固定資産除却損	10,929	78,705
減損損失	12,180	3,549
災害による損失	—	73,341
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	218,845	—
その他	921	17,301
特別損失合計	242,875	172,898
税引前四半期純損失(△)	△410,102	△311,524
法人税、住民税及び事業税	16,447	17,046
法人税等調整額	△162,656	△124,811
法人税等合計	△146,208	△107,764
四半期純損失(△)	△263,893	△203,759

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	428,283千円	413,970千円
のれんの償却額	4,060千円	3,654千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月25日 取締役会	普通株式	64,136	3.00	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月24日 取締役会	普通株式	85,515	4.00	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

社の報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は次のとおりであります。

項目	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額	△12.34円	△9.53円
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	△263,893	△203,759
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	△263,893	△203,759
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,378	21,378

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。